

(参考様式)

H20年度元気な地域づくり計画書 改善計画

平成20年7月30日作成

計画主体名	都道府県名	市町村名	地区名	計画期間	実施した施策の概要	
					実施期間	事業内容(メニュー)
伊賀市	三重県	伊賀市	小杉(すずめ)	H17～H19	H17	農業生産施設整備 農道 L=4.5km

1 元気な地域づくり計画の目標

テーマ 誰でも経営できる優良農地造り

目標1：農道の機能の確保

目標2：農業経営における生産性の向上と維持管理費・走行経費の節減

上記目標に対する達成状況

目標1：計画事業量をすべて整備し農道機能の確保が出来た。整備事業量L=4.5km 農道機能確保した面積 24.7ha

目標2：農道を整備することにより機能確保がされ、維持管理経費・走行経費の節減を図ることが出来た。

しかし、生産性の向上を図る作物(モロヘイヤ)の作付け目標値(1.0ha)を達成できなかった。水田畑利用の推進(実績値)0.4ha

目標が達成されなかった要因

水田畑利用の推進目標であるモロヘイヤ作付けが地元受益者への周知が不十分であったこと及び、計画に沿った輪換計画が実施できなかったため作付け目標を達成できなかった。

目標達成に向けた方策

目標達成年度 平成21年度

全体計画 ※目標達成年度までの改善に向けての体制整備や総体的な取組方策を記載(全体計画及び年度別計画)
農道機能の確保は図られているため、計画地域において水田畑利用を促進するため輪換計画の周知及び営農指導を強化し作付け予定作物の定着を図る。

平成20年度計画 受益者に対して生産性向上を図る作付け目標について周知及び合意形成を図るとともに、伊賀市から農家組合に対しての営農指導を強化推進する。

平成21年度計画 作付け計画に従ってモロヘイヤの計画的作付けを行う。

2 目標を定量化する指標

成果指標	計画策定時			計画満了時			達成率 (B/A)	指標が達成されなかった要因
	成果 目標 (A)	基準値	目標値	目標 年度	満了時 成果 (B)	実績値		
農業用排水施設等の機能 の確保	24.7ha	0	24.7ha	H19	24.7ha	24.7ha	100%	
必須								
水田畑利用の推進	1.0ha	0.2ha	1.0ha	H19	0.4ha	0.4ha	40%	田畑輪換作付けに対する理解不足 及び目標作物の適作地不足により 作付け出来なかった。
選択								

成果目標：計画を策定した時点での成果指標（目標増減（増減率等））
 基準値：計画を策定した時点で基準とした値
 目標値：計画を作成した時点で目標とした値
 算定根拠：出来るだけ詳細に記載の上、参考としてバック資料を添付
 達成率：計画を策定した時点での成果と比較した値（下2桁）

指標達成に向けた方策

指標達成年度	平成21年度
全体計画	※達成できなかった指標毎に指標達成年度までの改善に向けての体制整備や総体的な取組方策を記載（全体計画及び年度別計画） 指標 水田畑利用の推進 水田畑利用の推進において、地域において田畑輪換計画の周知及び実施計画の徹底を行い、農家組合を中心とした計画通りの輪換計画の実施を促進する。
平成20年度計画	平成21年度作付け計画を樹立し田畑輪換計画の周知を行い、作付け計画への受益者合意形成を図る。
平成21年度計画	作付け計画に従いモロヘイヤの計画的作付けを行う。

3 目標・指標の達成に向けた方策の各年度実績（改善計画策定した翌年度以降、目標・指標達成予定年度まで毎年度作成）

(1) 元気な地域づくり計画の目標

本年度実施予定方策	生産性向上のため、転作実施に伴う田畑輪かん計画の促進を図り、作付け予定作物の栽培に向け営農指導を行う。
本年度実績及び成果	
所見 (達成見込み等)	

(2) 目標を定量化する指標

本年度実施予定方策	水田畑利用の推進によるモロヘイヤ作付面積の増加を図る。
本年度実績及び成果	定積値 0.4ha、成果 0.4ha (B)、達成率 (B/A) 40%
所見 (達成見込み等)	モロヘイヤの作付けは、0.4ha程度で推移しており、担い手の高齢化の進行などが要因となり、目標に達、するところができていません。今後は、作付け計画をお周知し、作付け面積の増加に努めます。